

は じ め る。 つ な が る。 い ろ が る。

SAKATA VOLUNTEER CENTER

平成25年

3月

No.9

酒田市ボランティアセンターだより



発行・お問い合わせ：酒田市社会福祉協議会 酒田市ボランティアセンター

〒998-0864 山形県酒田市新橋2丁目1-19

TEL0234-24-2626 FAX0234-24-6299 E-mail:volunteer@sakata-shakyo.or.jp



祈りをこめてみんなで描きました

灯ろうの絵 宮城県名取市関上（ゆりあげ）地区へ

東日本大震災から2年。今月は様々な場所で追悼の会が行われます。宮城県名取市の関上（ゆりあげ）地区では、イベントで飾る灯ろうの絵を募集。それを知った酒田市民の1人から、「協力したい、何枚でもいいので市民の方にも協力してほしい」とお話があり、酒田市社会福祉協議会からも参加を呼びかけました。

2月24日（日）、「灯ろうの絵をみんなで作ろう」を開催。小さなお子さんから大人までみなさん、一生懸命でした。

絵手紙ボランティアほほえみ会、琢成学区女性の会、広野絵手紙教室のみなさんなど、多くの方から作品が届きました。



3/24 酒田市地域福祉センターにて

作品は、酒田市社会福祉協議会より、イベントを主催する名取市観光物産協会復興部会へ郵送しました。



なんどきなんどき



呼びかけの期間が短かったにもかかわらず、集まった作品は全部で316枚！

被災した方への祈りのメッセージや春らしい絵など、みなさんの思いがたくさん込められた温かい作品ばかりでした。





陸前高田市役所（取り壊し予定）にも
祈りの千羽鶴

鎮魂と祈りと希望

酒田市 東日本大震災追悼の集い

3月9日・地域福祉センターで

私たちはこの3月で2年目の3・11を迎えようとしています。

この間、多くの酒田市民が地元や、さまざまな機会や場所で、自分なりに被災地、被災者の支援を行ってきました。

酒田市には今もつて3百名を超える方々が避難をし、日々の暮らしの中でふるさとに帰る日を待っています。各地での復興の遅れから仮設住宅居住がさらに延長されるなど厳しい状況も続いています。記憶にとどめ息の長い継続的な

支援も求められています。

酒田市と酒田市社会福祉協議会では、震災で犠牲となられた方々を追悼するとともに、これから被災者の方々に寄り添い、ともに市民が復興に向けて気持ちを一つにするために「追悼の集い」を実施いたします。一般の方の申し込みは必要ありません。平服で参加ください。

●問い合わせは

酒田市社会福祉協議会

☎23・5765

FAX24・6299）まで。

- 日時 平成25年3月9日(土)10:00~11:30
会場 酒田市地域福祉センター(新橋二丁目)
対象 酒田市に避難されている方、酒田市民
内容 1. 追悼の集い 10:00~
2. 講演「被災地の復興を祈って
一子どもたちと一緒に“動く”ー」
庄内町教育委員会・和田一江先生
ほか 10:20~

南相馬から

我が家の除染は進んだものの…

武藤 栄子

2月に市内の除染計画が配られましたが、私の住む原町区は昨年に宅地除染も終わり、あとは農地を残すのみです。

宅地除染、どんなことをやったの？と度々聞かれるので我が家の場合を紹介します。

最初にどんな方法でやるのかアンケート方式で資料が送られてきました。例えば屋根は高圧洗浄機とサンドペーパーで擦るのですが、やるかやらないか、両方やるのかを選択します。我が家はスレート屋根なので絶対剥げてしまうと思いましたが両方をお願いしました。

注意書きには「塗装が落ちてそのまま」とありました。屋根、敷地内の表土、コンクリート部分、植木を全部依頼しました。屋根、庭(砂利も入れ替え)、犬走りや駐車場の舗装部分の研

磨をしてもらいました。洗浄で出た水はすべて回収されていきました。

線量の推移は平成23年3月末の帰還時の1.0 $\mu\text{S}/\text{h}$ (マイクロ・シーベルト) から24年に遮光カーテンに付け替えて0.40に、今回の除染で0.28(すべて室内)と少しは効果が出たようです。

ちなみに個人で除染しても東電の賠償対象にはなりません。初期に個人で除染された方はまた線量が上がってきたといっていました。やはり同時期に地域一帯の除染でないと効果はないようです。

我が家は今のところ多少の変動はあっても線量が上がってきたということはないです。子どもたちのために今後も下げる努力をしていきます。

静岡県災害ボランティア救援活動

図上訓練に参加して

3月2(土)、3日(日)の両日、静岡市において県主催の標記の訓練があった。県内から29市町249人、県外から22市町85団体144人が参加。テーマは「今、始める 災害前からの絆づくり」。

防災先進地静岡県だけにハードな内容でそのほとんどを実際に即した図上ワークショップ。1日目は参加した静岡県内31市町団体が支援してほしい県外団体85のブースに出向き、支援に足る団体を見極め指名する方式、いわば災害支援の婚活みたいなもの。酒田Vcは幸い？藤枝市、富士市、川根本町からオファーをもらい、最後は川根本町(島田市の北、大井川鉄道が通るお茶の産地、高齢化率42%)から指名を受けた。そこからどんな支援ができるかを災害から1か月後の町の課題と支援策を詰めて話し合う。人間的なつながりも生まれ、お互い非常時にはどのような支援ができるかを探り、帰路に就いた。(酒田市Vc・斎藤豊司記)

そろいのビブスで
全体交流会参加



真剣に図上訓練

酒田で何かをやりたい！

アイデアはある。

でもお金がない・・・。

ボランティアやNPO団体を立ち上げたい。酒田で何かをやりたい、という相談を受けることがあります。よく言われるのが人(仲間)、場所(居場所)、もの(資金)3つがそろうことが大事、立ち上げたのはいいが長くは続かない、資金が一番のウィークポイントに。そんな時には・・・。

荘内銀行ふるさと創造基金

対象事業 学校での教育的な活動・地域住民と一体的な社会教育活動・県内に伝わる文化的な活動

助成金額 総額600万円程度(1件当たり10～40万円・30件程度)

応募締切 3月15日(金)まで

申込み・問い合わせ 荘内銀行ふるさと振興室・

0235-28-2437 ホームページ

<http://www.shonai.co.jp/koueki/>



地域のふれあいを大事に

まずは一步、市民ボランティア除雪

日向地区で交流をしながら

2月16日当日はあいにくの吹雪模様。日向コミセンで地元参加者と合流後、52名の参加者は2班に分かれ目的地の大台野と湯の台に向かいます。途中、車道を登るにつれ両側は雪の壁が屹立し、車中からは「ええっ、すごい」の声があがります。

10時に現地到着。大台野でのひとり暮らしのAさん宅は2階まで雪がすっぽり。除雪、排雪班に分かれ作業を開始。2人暮らしのBさん宅は順調ながらAさん宅は遅々として進まず。2時間の奮闘結果は全体の3割ほどの除

雪で残念ながら時間切れに。

お昼は日向コミセンで参加者一同の交流会。地元の四ツ葉会の皆さんが杵でついてくれた肉餅、きなこ餅、あずき餅、自家製の漬物などでお代わりの声。参加した東北公益大、和太鼓部Windの若々しい感想が館内を笑い声で包みこみます。

地元参加者がひと言。「同じ日向でもこんなに雪があるなんて」、図らずも交流と地元再認識の場になりました。「まずは一步を」次回へ向けてみんながそう感じ帰路に。ありがとう。



家を覆いつくす雪の壁



吹雪にも負けず作業も一段と



あったかいもてなしに
心なごむ



～傾聴入門講座～

「聴き上手でコミュニケーション上手！」

聴くことによって相手のことを聞き、
信頼関係を築くことができる…

そんなコミュニケーションスキルが

“傾聴”です。傾聴の基本を学んで

普段のコミュニケーションに活かしてみませんか。

日時：3月21日（木）19：00～20：30

場所：酒田市交流ひろば 2階研修室（中町3-4-5）

講師：梅津幸士さん（庄内傾聴塾）

内容：傾聴の心構えを学び、ロールプレイでスキル習得

対象：興味のある方 どなたでも

定員：20名（3月19日までお申込みください）

参加費：無料

主催：酒田市

共催・申込み・問い合わせ：

酒田市ボランティアセンター

TEL：0234-24-2626（平日8：30～17：15）

FAX：0234-24-6299

E-mail：volunteer@sakata-shakyo.or.jp



25年度ボランティア活動保険 加入手続き受付中



◎ボランティア活動保険とは ボランティア活動中にケガをした、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまったなどの事故を補償するものです。万が一の備えとして、ご加入をお勧めします。

◎補償期間

平成25年4月1日～26年3月31日。中途加入の場合は、加入日の翌日～26年3月31日。

◎保険料 （25年度より変更になりました）

基本タイプ	A	300円	B	450円
天災タイプ	天災A	460円	天災B	690円

*天災タイプでは、天災（地震・噴火・津波）によるボランティア自身のケガも補償します。

◎お申込み・お問い合わせなど

所定の「加入申込書」に必要事項をご記入・ご署名（フルネーム）またはご捺印の上、保険料を添えて、社会福祉協議会（平日8：30～17：15）にご提出ください。

お問い合わせは酒田市ボランティアセンターまで。

編集後記

他愛ないといえばその通りだが最近、うれしいことがあった。図書館から借りた本を読み進むと手作りと思われるお御籤が挟んであった。「大吉 今年1年良い年でしょう。お話を聞くとよいでしょう。」と。誰かと想像する楽しさとちょっとした仕掛けが嬉しい。ちなみにこの本「訣別 ゴールドマンサクス」。世界有数の金融投資会社の手口のあくどさに会社を去った一社員の手記。だから世の中面白い。（バ）

～東日本大震災を忘れない！庄内じもとで応援隊～ 2年目のキャンドルナイト

0n 酒田市中町キャンドル STREET



「あなたの“3.11メッセージ”」を書いたキャンドルを灯します。



日時：3月11日（月）18：00～20：00

メインキャンドル：マリーン5前中町モール

*メインキャンドル点灯は19：00

★当日のボランティアも募集中！

詳細はお問合わせください。

★「キャンドルを作ろう」

3月9日（土）～11日（月）12：00～18：00

さかた街なかPR館にて 無料で体験できます。

主催：中町中和会商店振興組合・中通商店街振興組合・生涯学習施設「里仁館」

問い合わせ：里仁館 TEL：0234-61-4361

酒田市シルバー人材センター × NPO法人にこっと シルバぁちゃん先生と一緒に 笹巻きをつくろう



日時：4月13日（土）9：45～12：30

場所：浜田学区コミュニティ防災センター

（浜田1-10-3）

講師：酒田市シルバー人材センター会員

対象：1歳半～小学生の子どもと保護者

定員：10組（先着順、3月1日～受付開始）

参加費：300円

主催：酒田市シルバー人材センター

申し込み・問い合わせ：

NPO法人にこっと TEL：0234-23-6330



『酒田市ボランティアセンターだより』は
こちら↓に置かせていただいています。

酒田市社協・社協支部・市内コミセン・市役所・市役所支所・交流ひろば・文化センター・産業会館・親子スポーツ会館・武道館・東北公益文科大学・酒田看護専門学校・産業技術短大庄内校・michelle・ファミリーマート本間美術館前店・ローソン酒田北新橋店・モスバーガー酒田新橋店・みずほ八文字屋・ドトールコーヒESHOPエッソ酒田店・ファミリーマート酒田こがね町店・庄内障害者就業・生活支援センター・にこっと広場・パートナーシップオフィス・ヤマト運輸八幡センター・山茶花・いなかフェ白山 ほか市内の施設や店舗など



「たより」を置かせていただける場所や
掲載記事を募集しています！



「灯ろうの絵をみんなで作ろう」（1面）に参加しました。小さいお子さんから大人まで様々な方がいらっしゃいました。参加者の中には震災後に被災した地域から酒田へいらっしゃったご家族も。みんないっしょに、一生懸命描いたり、おしゃべりしたり。できた作品同様、あたたかい会でした。（伊藤貴子）

★発行：酒田市社会福祉協議会 酒田市ボランティアセンター★

酒田市新橋2丁目1-19 TEL 0234-24-2626 メール volunteer@sakata-shakyo.or.jp

酒田市社会福祉協議会ホームページ <http://www.sakata-shakyo.or.jp/>

